

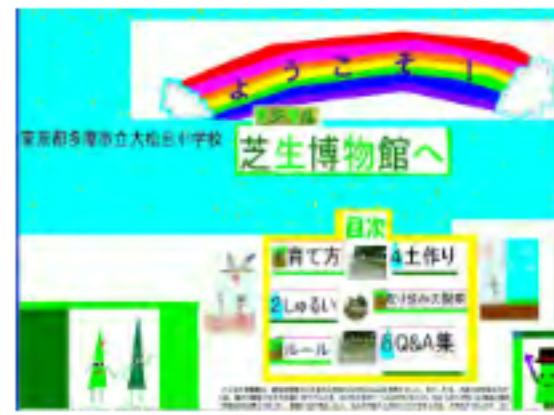
芝生を育てる土作り

このページは、**芝生**を元気に育てる**土作り**について説明するページです。

1 芝生の種のまき方 *



トンボ



表紙・目次にもどるときは、上の絵をおしてください！！

- まず最初に土をたがやしてやわらかくします。「スコップ」などで、20cm～30cmぐらい掘ってざつ草や小石などをとりのぞきます。ぼくたちは、20cmぐらいまでやわらかくしてて、とてもつかれてしまいました。みんながもしょるときにはがんばってください。
- *レーキで土のかたまりをていねいにやさしくならします。
- *トンボで土の表面を平らにし、あるてい度かためます。
- たねをまくまえに レーキであさいみぞをつけます。

- タネをまく。できるだけきんとうにまいて下さい。
- タネをまき終えたら、今度はレーキで直角に土をやわらかくし、自ぜんに土かぶさるようにする。
- さらに、ふるいを使って、種が完全に見えなくなるよう土をかぶせます。
- 水を全体にたっぷりまきます。芝の根はちょっとしたかわきにも弱いので、土の表面だけぬれている度の水やりをくりかえさないで下さい。

2 土はすごく大切だ

芝生にとって土は、人間で言うと家みたいな所です。なので、土をしっかりとつくっておきましょう。
そこは自分たちの考え方です。しっかりみんなで考えておきましょう。

また、どういった土をいれるかもかんがえておくひつようが、あります。

あと、土はたいらにしましょう。

土は、なぜ大切かがこれで分かりましたか。



3 いい土、悪い土

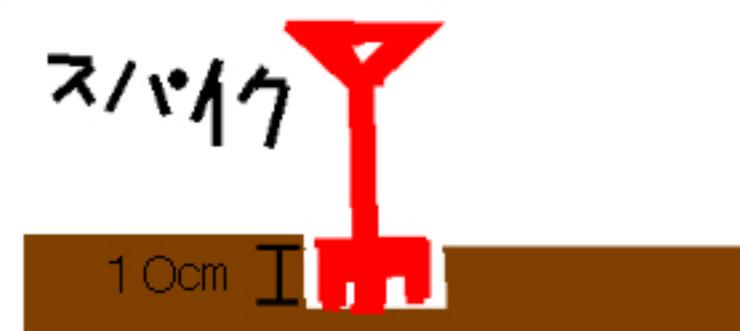


いい土とは、砂と、赤玉土と、ふ葉土をませた土です。
土のにおいをかいみてみよう。

ヘドロのにおい…根が息をできません。土は、何色をしているかな。はい色、青色の場合は水分が多すぎるようにです。土をにぎってみよう。きれいなおだんご…根が息をできません。土をさわってみよう。さらさら…水分やえいよう分が足りません。

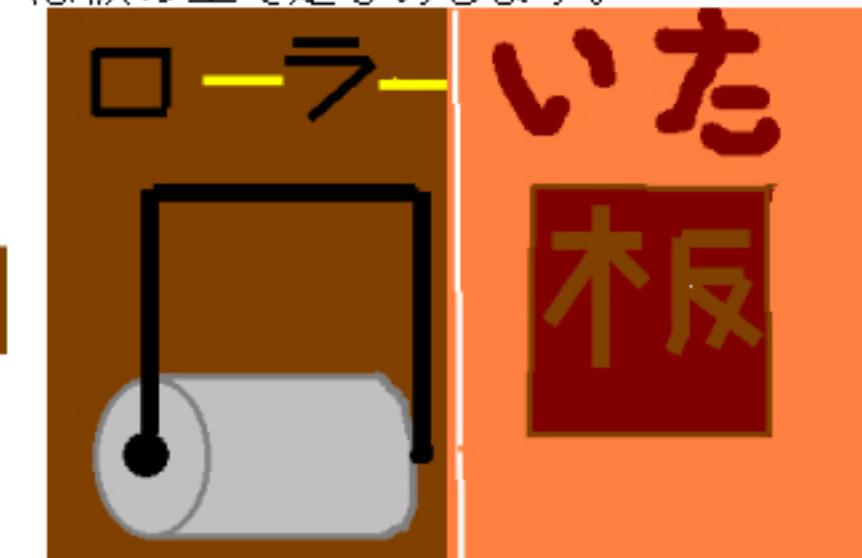
土に穴を開ける事

土に穴を開ける事をエアレーションと言います。スパイクと言う物で開けます。穴は、5cm～10cm開けます。穴を開けるのは、**芝生**の根に空気を送る役割をします。しうこは多摩市恵泉(けいせん)女学園大学の先生に教えてもらったり多摩市立陸上競技場の人に教えてもらいました



4 土を平らにする事

土が平らじゃないと肥料をまいた時に水をやるとへこんでいる所に肥料が集まってしまうのでローラーや板で平らにします。板で平らにする時は板の上で足ふみします。



芝生の土についての
発表の写真→



恵泉(けいせん)女学園大学の宮内先生